

サーサナ

第44号 仏暦2562（西暦2019）年3月7日

インド仏跡巡拝の報告（1）

2月14日から22日にわたって、インド仏跡巡拝にでかけました。この間、お休みをいただいたので、ご迷惑をおかけしましたが、無事に帰国できました。ありがとうございました。以下、その様子をご報告いたします。

ルートは、ニューデリー／パトナ／ヴァイシャーリー／ラージギル／ナーランダ／ブッダガヤ／コルカタ、です。団体旅行への参加ではなく、個人で回りましたので、多少の不便はありましたが、ほぼ予定通りに回ることがありました。出発の時点で、カシミールでの自爆テロがあり、その影響で一部の地域が封鎖されるとの噂がありましたが、結果としてはだいじょうぶでした。

しかしこの自爆テロに対するインド人の反発はすさまじく、しばしば「パキスタン人を殺せ」と叫ぶデモに遭遇しました。「すべてのものは暴力に怯える。我が身にひきくらべて殺してはならない」と釈尊が教えられたこの地において、暴力の連鎖が止まらないことに悲しみを覚えます。この現実の中で、どんなに微力であっても暴力反対の声をあげることが仏教徒の責任だと強く感じます。

ニューデリーでは、国立博物館で仏舍利（釈尊の御真骨）を拝見しました（10年前にも拝見しましたが、その時は仏舍利を納めた防弾ガラスケースの前に多くのお賽銭が置かれていましたが、今回「お金を置かないで下さい」との張り紙あり。次々にやってくる見学者の中でも、その前にぬかづいたり、あるいは右繞しつつ参拝する外国人仏教徒の姿は相変わらずです。）この仏舍利はフランス人のペッペがネパール国境近くのピプラーワーで発掘したもので、考古学的に証明された唯一の御真骨であり、その一部がタイ王室に贈られ、さらにタイ王室から日泰友好の証として日本に贈られました。それを奉納したのが日泰寺です。

ニューデリーからパトナへは夜行列車で移動。パトナから主要仏跡間を結ぶ列車の便がないので、二日間車をチャーターしました。早朝5時（私の還暦誕生日でした）に車でヴァイシャーリーに向います。ここは、かつてのヴァッジ国の首都で釈尊が何度も訪問し、後に第二回經典編集会議が行われた地です。アショカ王の石柱がそのままに、また仏舍利を奉納した仏塔跡が見られます。次にパトナに戻ります。現在のビバル州の州都ですが、遺跡としてはめばしいものはありませんが、

博物館ではヴァイシャーリから出土した釈尊の遺灰特別展示室に保管されていて、特別料金を払って拝観しました。そしてラージギルに向かい、そこで宿泊。ラージギルは漢訳仏典では「王舎城」とあり、釈尊在世時は、インド16大国のうちでもコーサラ国と並んで最強であったマガダ国（後に全インドを統一してマウリヤ朝帝国）の首都でした（後にパトナへ遷都）。竹林精舎としてここには大きな僧院があり、コーサラ国の祇園精舎とならんで、原始教団の二大拠点をなしていました。現在は公園として整備されており、瞑想センターもその中にあります。

翌朝、日の出前に霊鷲山（耆闍崛山）に登って、ご来光を拝しました。ここは釈尊がその山頂で無量寿経・観無量寿経・法華経などの主要経典を説いたとされる場所で、ひっきりなしに多くの仏教徒がやってきます。日の出頃には狭い山頂に100人を超える参拝者であふれかえりました。日本曹洞宗の僧侶のグループも。なお、霊鷲山（グリッド・ラクータ）の名は、頂上にある岩が鷲の形をしていることによるそうです。その後、ビンビサーラ王の牢獄後や、釈尊の侍医・ジーヴァカの診療所跡を見学しました。（続く）



法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。念珠は必ずご持参ください。また肩衣の着用を推奨します。肩衣とは浄土真宗の仏事における正装で、本山また当寺でも授与することができます

三月 涅槃会（ねはんえ）

兼 年間物故者追弔会

兼 春彼岸会

涅槃会とは、釈尊の入滅（入涅槃＝完全なる安らぎである死を迎えられたこと）を記念する法要です。本法要にあわせて、2018年の間に亡くなられた当寺御門徒を追弔いたします。また兼ねて春彼岸法要ともなります。

- ❖ 日 時 3月21日（木）午後2時～4時【午後1時半より受付】
- ❖ 内 容 年間物故者追弔のことば
勤行（和文仏教聖典読誦、正信偈同朋奉讃）
お話「インド仏跡巡拝」（住職）
写真とともに詳しくお話しします
- ❖ 持ち物 『和文仏教聖典』、『正信偈同朋奉讃』（または『真宗大谷派勤行集』）
- ❖ 記念品 インドのアッサム茶

四月 花祭りコンサート

花祭りは、お釈迦様の生誕をお祝いする行事で、甘茶を誕生仏に注ぎます。これを灌仏（かんぶつ）といいます。

「花祭りコンサート」は、今回はピアノとフルートのデュオ（重奏）を予定しています。今回はドビュッシー「二つのアラベスク」、森山良子さんの曲など。お楽しみ下さい。



- ❖日時 4月7日（日）午後2時～4時（※8日ではありません）
- ❖内容 2時～ 受付開始と灌仏
2時半～ 法要（嘆仏偈・念仏和讃）
3時～ コンサート
(ピアノ小島千加子さん／フルート大竹由夏さん)
 1. 仏教讃歌「衆会」
 2. ピアノとフルートのソロおよびデュオ
 3. みんなで歌おう
- ❖持ち物 勤行本『大谷派勤行集』
- ❖記念品 紅白薯蕷饅頭+ポダイジュの葉
- ❖甘茶は、本堂内でご自由にお飲みいただくことができます。

五月 永代経

子々孫々、永代にわたって、浄土三部経が読誦され、仏法が伝えられることを願いとする法要。御懇志を頂いたお方の法名を記した掛け軸をお掛けします。（「永代経」という名前のお経があるわけではありません。）

なお、永代経のご懇志については随時受け付けています。

- ❖日時 5月25日（土）午前10時～午後3時
受付開始は午前9時半より
- ❖内容 勤行（無量寿経・阿弥陀経、正信偈）、法話（石原和久師）
- ❖持ち物 勤行本『正信偈同朋奉讃』『真宗法要聖典』
- ❖お齋（昼食）接待があります
- ❖記念品 朱蠟

六月 帰敬式（おかみそり）

帰敬式は仏教徒（真宗門徒）になるための儀式です。仏教に帰依したことを名実共に証するもので、受式することにより法名が授与されます。法名は「死んだ人の名前」ではなく、仏教徒としての名前（名告り）です。

- ❖日時 6月28日（金）午前11時～正午
- ❖受式費用 20,000円（うち10,000円は本山礼金）講習会当日お納め下さい
- ❖申込方法
 - ・ 5月末までに、電話、メールなどにより、仮申込みをしてください。
 - ・ 下記の講習会には必ずご参加下さい。
- ❖講習会
 - ・ 6月16日（日）午後1時～4時半
 - ・ 仏教の基礎的教義や浄土真宗の成り立ちについて住職が講義します。
 - ・ 既に受式済の方も講習会を無料で受講することができます。ただし事前にお申し込み下さい。
- ❖記念品を用意いたします。
- ❖法名に希望の文字があれば、御相談に応じます。

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相続されますことを願いたします。

11月19日 安藤様[瑞穂区] 10万円

おみがき奉仕

皆様方のご奉仕をお願いしております。仏具を磨けば心も磨かれます。終了後はお茶とお菓子でおくつろぎ下さい。

- ❖5月10日（金）午前9時～12時

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弍（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 FAX：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>
